

平成25年度の硫黄島に係る
遺骨収集帰還の取組状況について

平成26年3月26日
厚生労働省

面的調査の取組状況について

平成23年度実施地域:2区分

調査した壕口:294か所、トーチカ:6か所

平成24年度実施地域:14区分

調査した壕口:321か所、トーチカ:14ヶ所

平成25年度実施地域:14区分

調査した壕口:48か所、トーチカ:26か所

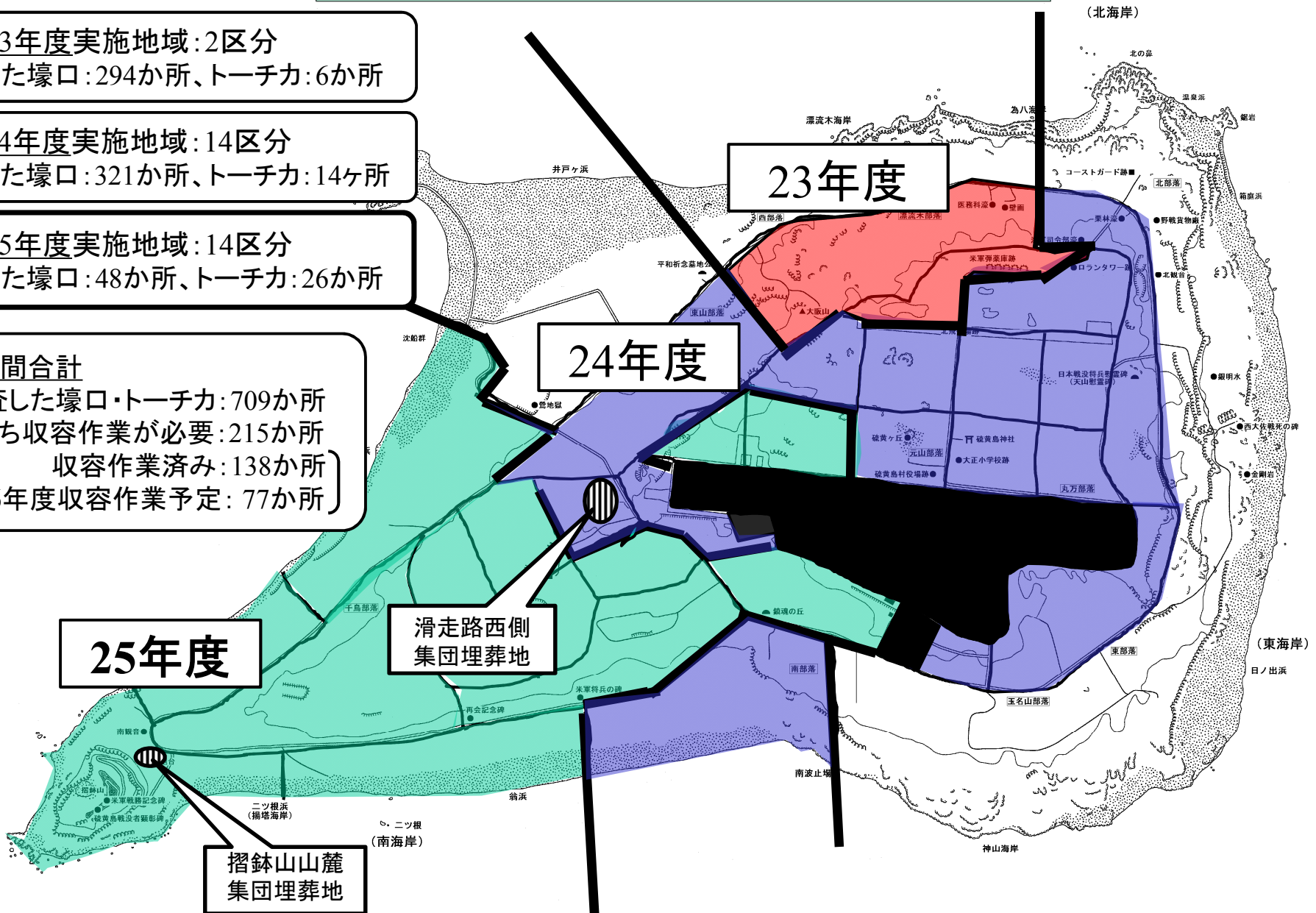
3年間合計

調査した壕口・トーチカ:709か所

うち収容作業が必要:215か所

収容作業済み:138か所

〔26年度収容作業予定:77か所〕



遺骨収容の取組状況について

《硫黄島における遺骨収容の現状》

(平成26年3月12日現在)

- 戦没者概数 約21,900人
- 収容遺骨数 10,313柱
- 未収容遺骨数 11,587柱(推計)

昭和27年から延べ109回の遺骨収容を実施。

うち平成15～21年度は東部の外周道路外側において遺骨収容を実施。

平成22年度からは島中心部(集団埋葬地及び23年度～25年度の面的調査により確認された地下壕等)において遺骨収容を実施。

平成23・24・25年度実施状況

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	3年間合計
遺骨収集帰還団派遣回数	2回	14回	11回	27回
うち遺族を中心とする小規模なもの	-	10回	8回	18回
うち遺族,ボランティア,NPOによる大規模なもの	2回	4回	3回	9回
収 容 柱 数	344柱	266柱	166柱	776柱
うち滑走路西側の集団埋葬地から収容	335柱	145柱	121柱	601柱
うち面的調査で確認された壕等から収容	9柱	121柱	45柱	175柱

※平成23年度は東日本大震災のための自衛隊の災害派遣に伴い、渡島手段の確保が困難であった。

遺骨収容等の現状

戦没者概数 約21,900人	収容遺骨数 10,313柱
	未収容遺骨数(推計) 11,587柱

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
収容遺骨数	50	44	84	43	26	51	822※1	344※2	266※3	(柱) 166※4
硫黄島関連予算額 (厚生労働省)	26,543	21,249	30,085	34,895	34,866	65,016	136,523※5	1,000,363※6	884,971※7	(千円) 884,813※8
収容実施地域	外周道路 外側	外周道路 外側	外周道路 外側	外周道路 外側	外周道路 外側	外周道路 外側	島中心部	島中心部	島中心部	島中心部

※1 822柱のうち、集団埋葬地の可能性の高い場所から815柱（滑走路西側から663柱、摺鉢山山麓から152柱）、その他の場所から7柱収容。

※2 344柱のうち、集団埋葬地の可能性の高い滑走路西側から335柱、その他の場所から9柱収容。

※3 266柱のうち、集団埋葬地の可能性の高い滑走路西側から145柱、その他の場所から121柱収容。

※4 166柱のうち、集団埋葬地の可能性の高い滑走路西側から121柱、その他の場所から45柱収容。

※5 その他慰霊巡拝等予算を含め、硫黄島対策予算 173,912千円を計上。

※6 その他慰霊巡拝等予算を含む平成23年度予算（元気な日本復活特別枠） 1,160,227千円を計上。

※7 その他慰霊巡拝等予算を含む平成24年度予算 981,665千円を計上。

※8 その他慰霊巡拝等予算を含む平成25年度予算 966,762千円を計上。

(参考)遺骨収集帰還等の現状(全体)

海外戦没者概数 約240万人	収容遺骨概数	約127万柱
	未収容遺骨概数	約113万柱
	うち①海没遺骨	約30万柱
	②相手国事情で収容困難な遺骨	約23万柱
	上記①②以外の未収容遺骨(最大)	約60万柱

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
収容遺骨数	1,151	604	640	760	2,038	8,965	8,097	1,983	1,223	(柱) 984
予算額	267,329	242,096	244,114	239,729	240,231	320,941	614,232	1,566,935	1,318,485	(千円) 1,302,901